

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	府中市小柳町2-11-2 TEBS BUILDING 3F
園名	ソラスト府中保育園

1. 活動のテーマ

〈テーマ〉

落ち葉の音

〈テーマの設定理由〉

この時期は落ち葉が沢山あり秋の自然に親しみを持つと共に五感でも季節を楽しむ目的として落ち葉の音を楽しむことにした。

2. 活動スケジュール

2026年10月19日（月）

- ・ 保育園を出発し保育者と手を繋いで歩くことバギーに乗る子に分かれ一緒に出発した。
- ・ 白糸台第三公園に到着し、バギーに乗っている子を降ろして戸外遊びを楽しむ。
- ・ 公園内を自由に散策し保育者が落ち葉を散らし子どもが興味を持ち始める。
- ・ 落ち葉の上を歩いたり落ち葉を手で小さく千切ったりして保育者とのやりとりを楽しみながら落ち葉の音を聞きながら秋を感じる。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ バギー
- ・ カメラ（スマホ）
- ・ 水筒
- ・ 散歩リュック

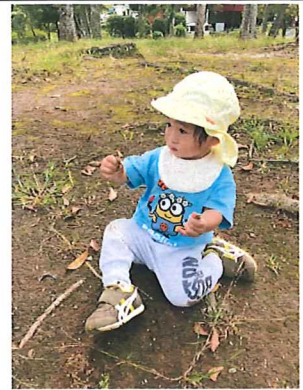
4. 探究活動の実践

〈活動の内容〉

- ・ 散歩
- ・ 補水
- ・ 公園内を自由に散策
- ・ 秋の自然に触れる

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

- ・ 公園では自分で歩きたい、あっちに行きたいという気持ちを受け止めながら保育者が足元や転倒に注意しながら見守る。
- ・ どんぐりを見つけたら「どんぐりあったね」など言葉でのやりとりをする。
- ・ 子どもが自由に散策を楽しんだ後に落ち葉がたくさんある場所に誘い、保育者が落ち葉を散らしたり千切ったりすることで真似をする姿が見られた。
- ・ パラパラ、ビリビリなど擬音語も使って音を伝えた。
- ・ 落ち葉の上を歩き保育者が足踏みをすることで子どもも音に気がついて落ち葉を踏んだ時の音を楽しんでいた。又、保育者と一緒に手を繋いで落ち葉の上を歩くことでより楽しみながら音を感じていた。



5. 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

- ・ 落ち葉を散らした時に多少の月齢差があっても、保育者のように散らす真似をしたり、下に落ちた落ち葉を手で千切ったりと個々に楽しんでいた。
- ・ 子どもが散らして遊ぶ姿を見た子が嬉しそうに笑い、このような場面でも人間関係が育まれることに気がつくことができた。
- ・ 落ち葉の音を保育者が擬音語で表すことで復唱したり笑ったりしていたため今後も言葉での表現を大切にしていきたい。
- ・ 落ち葉を散らす際に砂が混ざっていると目に入る危険性があるため注意が必要。